

令和元年度

# 仙台市水道事業会計決算の大要

仙台市水道局

# 令和元年度仙台市水道事業の概況と決算の概要

## 1 事業の概況

本年度の水道事業は、「仙台市水道事業中期経営計画(平成27年度～令和元年度)」の最終年度にあたり、計画に掲げる事業を着実に推進し、強くて安心な水道、エコで持続可能な水道づくりに取り組みながら、お客さまへの安全・安心で良質な水道水の安定供給に努めてまいりました。

事業実績につきましては、年間総配水量が1億1,978万5千立方メートル、前年度比51万4千立方メートル(0.4%)減、年間有収水量が1億1,302万1千立方メートル、前年度比47万9千立方メートル(0.4%)減となり、有収率は前年度より0.1ポイント向上して94.4%となりました。

経営面につきましては、80年後を見据えた長期的な資産管理の考え方である「アセットマネジメントの方向性」と、30年後を見据えた持続可能かつ強靱な施設形態の構築を目指す「水道施設再構築構想」を示すとともに、目指す将来像を設定し、今後10年間に取り組むべき施策の基本的方向性を定めた「仙台市水道事業基本計画(令和2年度～11年度)」を策定しました。

次に、建設改良事業につきましては、配水管整備事業で、基幹管路の新設工事や配水支管の更新工事などを行い、事業費59億4千万円を支出し、配水管延べ32,934メートルを布設しました。また、施設整備事業では、荒巻配水所更新工事や茂庭浄水場配水池耐震補強工事等の災害対策関連事業を行ったほか、福岡浄水場系監視カメラ新設・更新工事等の安全対策関連事業などを行い、事業費41億2千9百万円を支出しました。

### (1) 普及状況

区 分	令和元年度	平成30年度	比 較	
			増 減	比率(%)
計画給水区域内人口(A)	1,064,212 人	1,061,715 人	2,497 人	100.2
給 水 人 口(B)	1,061,155 人	1,058,549 人	2,606 人	100.2
普 及 率(B/A)	99.7 %	99.7 %	0.0 %	-

### (2) 配水状況

区 分	令和元年度	平成30年度	比 較	
			増 減 (△ 減)	比率(%)
年 間 総 配 水 量	119,785,439 m <sup>3</sup>	120,298,943 m <sup>3</sup>	△ 513,504 m <sup>3</sup>	99.6
一 日 平 均 配 水 量	327,283 m <sup>3</sup>	329,586 m <sup>3</sup>	△ 2,303 m <sup>3</sup>	99.3
一 日 最 大 配 水 量	355,652 m <sup>3</sup>	359,172 m <sup>3</sup>	△ 3,520 m <sup>3</sup>	99.0
使 用 給 水 栓 数	464,799 栓	459,406 栓	5,393 栓	101.2
年 間 有 効 水 量	115,770,423 m <sup>3</sup>	116,217,496 m <sup>3</sup>	△ 447,073 m <sup>3</sup>	99.6
年 間 有 収 水 量	113,020,954 m <sup>3</sup>	113,500,467 m <sup>3</sup>	△ 479,513 m <sup>3</sup>	99.6
有 効 率	96.6 %	96.6 %	0.0 %	-
有 収 率	94.4 %	94.3 %	0.1 %	-

## 2 決算の大要

### (1) 収益的収入及び支出

#### 収 益 的 収 入

(単位 千円)

区 分 科 目	予 算 額			決 算 額	増 減 ( △ 減 )
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額 ( △ 減 )	計		
水道事業収益	30,280,026	△ 305,620	29,974,406	29,995,339	20,933
営業収益	27,056,339	△ 200,000	26,856,339	26,869,340	13,001
給水収益	25,913,560	△ 200,000	25,713,560	25,704,521	△ 9,039
受託工事収益	94,043	0	94,043	111,724	17,681
その他営業収益	1,048,736	0	1,048,736	1,053,095	4,359
営業外収益	3,220,821	△ 105,620	3,115,201	3,114,884	△ 317
受取利息	1,900	0	1,900	9,714	7,814
不動産賃貸料	33,265	0	33,265	33,340	75
水道加入金	1,311,226	0	1,311,226	1,295,017	△ 16,209
他会計補助金	360,405	△ 18,027	342,378	342,964	586
国庫補助金	131,102	△ 104,000	27,102	26,108	△ 994
長期前受金戻入	1,359,059	0	1,359,059	1,358,561	△ 498
雑収益	23,864	16,407	40,271	49,180	8,909
特別利益	2,866	0	2,866	11,115	8,249
固定資産売却益	1	0	1	0	△ 1
過年度損益修正益	2,865	0	2,865	11,115	8,250

(注) 収益的収入は消費税及び地方消費税込みの額である。

水道事業収益は、当初 30,280,026千円を予定いたしましたが、雑収益の増収見込みと、給水収益、国庫補助金等の減収見込みとの差引きにより、305,620千円を減額補正いたしましたので、最終予算額は 29,974,406千円となりました。

決算については、水道加入金等で減収となりましたが、受託工事収益等の増収により 29,995,339千円となりましたので、予算額に対して 20,933千円の増収となりました。

## 収 益 的 支 出

(単位 千円)

区 分 科 目	予 算 額						決 算 額	翌年度 繰越額	不 用 額
	当初予算額	補正予算額 (△ 減)	予備費 支出額	流用増減額 (△ 減)	繰越額	計			
水道事業費用	28,410,713	△571,500	0	0	26,939	27,866,152	26,440,346	253,139	1,172,667
営業費用	26,964,663	△539,500	0	0	26,939	26,452,102	25,112,412	253,139	1,086,551
原水費	703,839	△ 21,500	0	0	0	682,339	627,504	0	54,835
浄水費	2,489,281	△ 71,000	0	△ 8,442	0	2,409,839	2,198,375	29,993	181,471
受水費	6,520,951	0	0	0	0	6,520,951	6,334,434	0	186,517
配水費	3,302,254	△ 27,000	0	0	26,939	3,302,193	2,856,490	223,146	222,557
給水費	2,331,196	△ 26,000	0	△ 38,653	0	2,266,543	2,114,315	0	152,228
受託工事費	93,994	0	0	40,596	0	134,590	120,831	0	13,759
業務費	1,238,799	△ 16,000	0	0	0	1,222,799	1,182,983	0	39,816
総係費	1,386,217	△ 28,000	0	6,499	0	1,364,716	1,294,457	0	70,259
減価償却費	8,115,103	△250,000	0	0	0	7,865,103	7,791,826	0	73,277
資産減耗費	783,029	△100,000	0	0	0	683,029	591,197	0	91,832
営業外費用	1,373,050	△ 32,000	0	0	0	1,341,050	1,289,662	0	51,388
支払利息	967,274	△ 32,000	0	0	0	935,274	934,697	0	577
消費税及び地方消費税	401,776	0	0	0	0	401,776	353,054	0	48,722
雑支出	4,000	0	0	0	0	4,000	1,911	0	2,089
特別損失	43,000	0	0	0	0	43,000	38,272	0	4,728
過年度損益修正損	43,000	0	0	△ 1,140	0	41,860	37,132	0	4,728
固定資産売却損	0	0	0	476	0	476	476	0	0
その他特別損失	0	0	0	664	0	664	664	0	0
予備費	30,000	0	0	0	0	30,000	0	0	30,000
予備費	30,000	0	0	0	0	30,000	0	0	30,000

(注) 収益的支出は消費税及び地方消費税込みの額である。

水道事業費用は、当初 28,410,713千円を予定いたしましたが、減価償却費、資産減耗費等の減額見込みにより、571,500千円を減額補正し、これに前年度から繰り越した営業費用 26,939千円を加え、最終予算額は 27,866,152千円となりました。

決算については、受水費、配水費等の減少により 26,440,346千円となり、浄水費で 29,993千円、配水費で 223,146千円を翌年度へ繰り越しいたしましたので、不用額は 1,172,667千円となりました。

## (2) 資本的収入及び支出

## 資 本 的 収 入

(単位 千円)

区 分 科 目	予 算 額				決 算 額	増 減 ( △ 減 )
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額 ( △ 減 )	繰 越 額	計		
水道事業 資本的収入	6,207,670	△ 574,000	2,314,413	7,948,083	5,065,785	△2,882,298
企業債	4,500,000	△ 200,000	1,652,000	5,952,000	4,092,000	△1,860,000
固定資産 売却代金	7,730	0	0	7,730	7,254	△ 476
出資金	454,018	△ 72,000	115,758	497,776	378,826	△ 118,950
国庫補助金	835,556	△ 232,000	535,405	1,138,961	337,493	△ 801,468
開発負担金	336,448	△ 90,000	0	246,448	154,141	△ 92,307
負担金	53,345	10,000	11,250	74,595	82,842	8,247
その他 資本的収入	20,573	10,000	0	30,573	13,229	△ 17,344

(注) 資本的収入は消費税及び地方消費税込みの額である。

水道事業資本的収入は、当初 6,207,670 千円を予定いたしましたが、負担金、その他資本的収入の増収見込みと、企業債、国庫補助金等の減収見込みとの差引きにより、574,000 千円を減額補正し、これに前年度から繰り越した同意済企業債 1,652,000 千円、出資金 115,758 千円、国庫補助金 535,405 千円、負担金 11,250 千円を加え、最終予算額は 7,948,083 千円となりました。

決算額は 5,065,785 千円となり、予算額に比べ 2,882,298 千円の減収となりました。これは、企業債 1,660,000 千円、出資金 69,742 千円、国庫補助金 224,657 千円を繰越工事の財源として翌年度へ繰り越したこと等によるものです。

## 資 本 的 支 出

(単位 千円)

区 分 科 目	予 算 額					決 算 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
	当初予算額	補正予算額 (△ 減)	流用増減額	繰 越 額	計			
水道事業 資本的支出	16,887,950	△ 748,000	0	3,823,022	19,962,972	16,215,853	2,843,075	904,044
建設改良費	10,655,445	△ 545,000	0	3,823,022	13,933,467	10,186,401	2,843,075	903,991
配水管整備 事業費	6,202,014	0	0	2,248,936	8,450,950	5,940,155	2,290,678	220,117
施設整備 事業費	4,235,832	△ 477,000	0	1,530,697	5,289,529	4,128,644	547,277	613,608
受託等 工事費	217,599	△ 68,000	0	43,389	192,988	117,602	5,120	70,266
企業債償還金	6,232,505	△ 203,000	0	0	6,029,505	6,029,452	0	53

(注) 資本的支出は消費税及び地方消費税込みの額である。

水道事業資本的支出は、当初 16,887,950 千円を予定いたしましたが、建設改良費、企業債償還金の減額見込みにより、748,000 千円を減額補正し、これに前年度から繰り越した建設改良費 3,823,022 千円を加え、最終予算額は 19,962,972 千円となりました。

決算額は 16,215,853 千円となり、配水管整備事業費 2,290,678 千円、施設整備事業費 547,277 千円、受託等工事費 5,120 千円の合計 2,843,075 千円を翌年度へ繰り越いたしましたので、不用額は 904,044 千円となりました。

次に、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額の補てん財源について説明いたします。

資本的収入額 5,065,785 千円が資本的支出額 16,215,853 千円に対し不足する額 11,150,068 千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 758,492 千円、過年度分損益勘定留保資金 6,447,690 千円及び減債積立金 3,943,886 千円で補てんいたしました。

## (3) 損益計算書

## 比較損益計算書

(単位 千円)

費用の部				収益の部					
科目	区分	令和元年度	平成30年度	増減 (△減)	科目	区分	令和元年度	平成30年度	増減 (△減)
営業費用		23,988,488	22,854,046	1,134,442	営業収益		24,742,790	24,945,584	△ 202,794
営業外費用		937,795	1,052,871	△ 115,076	営業外収益		3,005,569	3,093,770	△ 88,201
特別損失		35,873	196,306	△ 160,433	特別利益		10,298	7,755	2,543
小計		24,962,156	24,103,223	858,933					
当年度純利益		2,796,501	3,943,886	△1,147,385					
計		27,758,657	28,047,109	△ 288,452	計		27,758,657	28,047,109	△ 288,452

(注) 損益計算書は消費税及び地方消費税抜きの額である。

当年度の総収益は 27,758,657 千円で、前年度に比べ 288,452 千円の減収となりました。これは、過年度損益修正益等の特別利益で 2,543 千円増加いたしましたが、その他営業収益等の営業収益で 202,794 千円、水道加入金等の営業外収益で 88,201 千円減少したことによるものです。

また、総費用は 24,962,156 千円で、前年度に比べ 858,933 千円の増加となりました。これは、支払利息等の営業外費用で 115,076 千円、減損損失等の特別損失で 160,433 千円減少しましたが、配水費等の営業費用で 1,134,442 千円増加したことによるものです。

以上により、当年度は 2,796,501 千円の純利益となりました。

(4) 剰余金計算書及び剰余金処分計算書(案)

資本剰余金については、前年度末残高は 28,606,842千円でありましたが、増減はありませんでしたので、当年度末残高は 28,606,842千円となりました。当年度末残高の内訳は、受贈財産評価額 3,824,117千円、工事負担金 1,248,090千円、国庫(県)補助金 415,509千円、開発負担金 22,339,295千円、その他資本剰余金 779,831千円となっております。

利益剰余金については、前年度末残高が 6,887,554千円でありましたが、議決による処分により 2,943,668千円が減少し、当年度純利益 2,796,501千円が生じたことにより、当年度末残高は 6,740,387千円となりました。

当年度末処分利益剰余金 6,740,387千円については、3,943,886千円を資本金に組み入れ、残額の 2,796,501千円を建設改良積立金に積み立ていたします。



## (5) 貸借対照表

## 比較貸借対照表

(単位 千円)

資 産 の 部				負 債 ・ 資 本 の 部			
区分 科目	令和元年度	平成30年度	増 減 ( △ 減 )	区分 科目	令和元年度	平成30年度	増 減 ( △ 減 )
固定資産	179,355,744	177,868,242	1,487,502	固定負債	60,792,111	63,133,995	△ 2,341,884
流動資産	22,021,236	22,384,679	△ 363,443	流動負債	12,594,552	11,968,544	626,008
				繰延収益	27,413,322	27,748,713	△ 335,391
				資本金	65,229,766	61,907,273	3,322,493
				剰余金	35,347,229	35,494,396	△147,167
計	201,376,980	200,252,921	1,124,059	計	201,376,980	200,252,921	1,124,059

(注) 貸借対照表は消費税及び地方消費税抜きの額である。

固定資産のうち、有形固定資産については、前年度末残高は 171,686,118 千円でありましたが、当年度内に建設改良事業により 9,287,054 千円、寄附により 455,403 千円、リース資産取得により 7,095 千円の合計 9,749,552 千円が増加し、減価償却等により 7,523,141 千円、除却により 462,426 千円、売却等により 8,393 千円の合計 7,993,960 千円が減少しましたので、当年度末残高は 173,441,710 千円となりました。無形固定資産については、前年度末残高は 6,112,624 千円でありましたが、建設改良事業により 1,782 千円が増加し、減価償却により 269,872 千円が減少しましたので、当年度末残高は 5,844,534 千円となりました。投資については、前年度末残高は 69,500 千円でありましたが、増減はありませんでしたので、当年度末残高は 69,500 千円となりました。これにより、固定資産の当年度末残高は 179,355,744 千円となりました。

流動資産については、前年度末残高は 22,384,679 千円でありましたが、貯蔵品 13,258 千円が増加し、現金及び預金 265,316 千円、未収金 111,166 千円、前払費用 219 千円が減少しましたので、当年度末残高は 22,021,236 千円となりました。

固定負債については、前年度末残高は 63,133,995 千円でありましたが、企業債 2,107,503 千円、リース債務 101,657 千円、引当金 132,724 千円が減少しましたので、当年度末残高は 60,792,111 千円となりました。

流動負債については、前年度末残高は 11,968,544 千円でありましたが、企業債 170,051 千円、未払金 421,131 千円、預り金 18,936 千円、引当金 22,800 千円が増加し、リース債務 1,825 千円、未払費用 5,085 千円が減少しましたので、当年度末残高は 12,594,552 千円となりました。

繰延収益については、前年度末残高は 27,748,713 千円でありましたが、長期前受金 335,391 千円が減少しましたので、当年度末残高は 27,413,322 千円となりました。

資本金については、前年度末残高は 61,907,273 千円でありましたが、3,322,493 千円が増加しましたので、当年度末残高は 65,229,766 千円となりました。

剰余金については、前年度末残高は 35,494,396 千円でありましたが、利益剰余金 147,167 千円が減少しましたので、当年度末残高は 35,347,229 千円となりました。

なお、用地の内訳は別表のとおりです。

以上が、令和元年度仙台市水道事業会計決算の大要です。

## 別表

## 用地内訳表

令和2年3月31日現在

区分	所在	面積 (㎡)	帳簿価額 (千円)	使用目的	備考	
施設	大倉川 水源関係	青葉区芋沢字中田西29-1 外48	52,893	23,069	隧道用地	
		青葉区芋沢字甲野田中2-2 外10	6,099	2,851	導水管路用地	
		青葉区芋沢字中山下24-3 外21	81,988	221,030	貯水池用地	
		青葉区芋沢字中原17-1 外40	67,460	35,943	浄水場用地	
		青葉区芋沢字大竹原8-2 外23	28,636	30,382	送水管路用地	
		青葉区国見三丁目24-1 外17	35,555	79,364	配水所用地	
		青葉区上愛字字松原39-2	233	898	ポンプ場用地	
		青葉区国見二丁目55 外12	930	221	配水管路用地	
		青葉区芋沢字大竹原5-1 外9	17,624	212,050	発生土処分用地	
		小計	291,418	605,808		
用地	青下 水源関係	青葉区熊ヶ根字大原道19-1 外60	876,055	909,071	水源用地	
		青葉区大倉字大原新田12-5 外13	2,135	21	隧道用地	
		小計	878,190	909,092		
用地	大倉ダム 水源関係	青葉区芋沢字中田西9-7 外10	17,488	3,174	隧道用地	塩竈市共有地含
		青葉区芋沢字青野木84-3 外46	45,570	184,196	導水管路用地	塩竈市共有地含
		青葉区国見六丁目13-2 外14	67,295	203,416	浄水場用地	塩竈市共有地含
		青葉区小松島三丁目5-10 外5	1,472	21,140	送水管路用地	
		宮城野区柊江19-2 外11	20,956	288,641	配水所用地	
		青葉区国見六丁目13-14 外2	234	1,446	ポンプ場用地	
		青葉区貝ヶ森二丁目21-5 外14	3,653	51,235	配水管路用地	
		青葉区川平三丁目13-14 外2	2,029	16,002	流量計室用地	
		青葉区芋沢字中田西9-8 外8	2,051	6,904	その他用地	塩竈市共有地含
		小計	160,748	776,154		

区分	所在	面積 (㎡)	帳簿価額 (千円)	使用目的	備考	
施設	釜房ダム 水源関係	川崎町小野字小地倉山1-10 外6	254,001	28,777	隧道用地	
		川崎町支倉字上赤沢山2-2	12,479	9,735	沈砂池用地	
		太白区茂庭字中谷地山8-3 外63	34,860	28,364	導水管路用地	
		太白区茂庭字上ノ原山128-2 外15	127,581	181,811	浄水場用地	
		太白区佐保山9-2 外58	5,367	7,257	送水管路用地	
		青葉区荒巻字青葉341-1 外18	65,661	310,252	配水所用地	
		青葉区荒巻字青葉694-4 外6	20,584	178,817	ポンプ場用地	
		太白区茂庭字人来田西7-3 外212	91,783	391,306	配水管路用地	ガス局・建設局 共有地舎
		太白区茂庭字坂ノ下29-3 外2	100,719	327,520	発生土処分用地	
		宮城野区仙台港北二丁目3-4 外13	1,477	60,105	その他用地	ガス局・NTT・ 東北電力共有地舎
	小計	714,512	1,523,944			
用地	七北田 ダム 水源関係	泉区福岡字東泉24-3 外15	15,583	62,908	水源用地	
		泉区福岡字台103-2 外3	82,529	189,699	浄水場用地	
		泉区小角字下河原3-15 外28	7,704	70,023	送水管路用地	
		泉区福岡字岳山3-13 外24	77,952	976,951	配水所用地	
		青葉区芋沢字上新田50-7 外18	20,238	220,137	ポンプ場用地	
		泉区実沢字荒神39-4 外12	860	13,203	配水管路用地	
		泉区南中山一丁目44-5 外1	1,025	27,292	高架水槽用地	
		泉区南光台二丁目68-543	514	2,726	流量計室用地	
		泉区福岡字大沢3-8 外9	658	10,217	発生土処分用地	
	小計	207,063	1,573,156			

区分	所在	面積 (㎡)	帳簿価額 (千円)	使用目的	備考	
施設	広域 水道関係	太白区茂庭字大堤21-118 外13	14,085	103,967	送水管路用地	
		太白区茂庭字馬越石20-5 外19	80,398	762,737	配水所用地	
		青葉区芋沢字綱木坂32 外8	8,100	124,115	ポンプ場用地	
		太白区茂庭字生出森45-2 外12	20,502	105,451	配水管路用地	
		青葉区国見六丁目12-33 外1	412	302	流量計室用地	
		青葉区小松島四丁目53-2	108	8,810	その他用地	
	小計	123,605	1,105,382			
施設	宮床ダム 水源関係	泉区福岡字檀ノ原56-5 外1	900	13,768	導水管路用地	
		泉区朴沢字相ノ沢4 外2	2,339	8,271	その他用地	
	小計	3,239	22,039			
用地	その他の 水源関係	青葉区大倉字高見沢11-2 外4	9,307	9,147	導水管路用地	
		青葉区大倉字高見沢25-2 外3	7,516	8,909	浄水場用地	
		青葉区上愛子字堤4-2 外68	36,470	157,799	送水管路用地	
		青葉区大倉字下窪37-2 外12	24,931	63,911	配水所用地	
		青葉区大倉字宮前4-1 外4	5,935	21,968	ポンプ場用地	
		青葉区大倉字堰下12-6	10	30	その他用地	
	小計	84,169	261,764			
資材置場 用地ほか	宮城野区扇町四丁目5-1	10,250	57,266	資材置場用地		
	富谷市富ヶ丘一丁目3-88 外43	129,548	253,044	その他用地		
	小計	139,798	310,310			
計		2,602,742	7,087,649			

区 分	所 在	面 積 (㎡)	帳簿価額 (千円)	使 用 目 的	備 考
事 務 所 用 地	太白区南大野田29-1 外4	19,176	1,432,193	大野田庁舎用地	
	若林区卸町二丁目3-1 外2	10,076	110,340	その他庁舎用地	
	計	29,252	1,542,533		
合 計		2,631,994	8,630,182		

